

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	札幌市みかほ整肢園			
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～	2025年2月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数)	49
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	20
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	担任保育士や指導員・看護師だけではなくリハビリ担当の理学療法士や作業療法士など様々な職種がいるので保育活動の中でも子ども1人1人に合わせた設定や介助を行うことが出来ています。季節に合わせた行事など取り組んでいます。	クラス会議やケースカンファレンス会議を定期的に行い、子どもや家族の情報を共有して方向性の統一を図っています。お花見や動物園遠足、プール活動、北大散歩、そり滑りなど季節に合わせた外活動や年長お泊り会などの行事を行っています。	継続してクラス会議やケースカンファレンス会議を開いて情報共有を行います。
2	送迎をドアツードアで行っているため、医療的なケアが必要な子どもや自立座位が困難なお子さんでも福祉車両を使用したバギーや車いすでの送迎が可能となっています。	福祉車両の増大を可能な限り行い、加えて座位保持が不安定なお子さんでも乗車可能になるように車載用座位保持装置の購入を行っています。	子どもの登園人数に応じた職員配置の増員を都度検討します。送迎業務を行う従業員を増やします。
3	年代別や職種別、また職種毎など研修の機会を多く持ち、職員の人材育成に力を入れています。	法人全体で年代別ごとの研修や職階毎の研修の機会を定期的に設けています。また、保育士向けの研修やリハビリ職員向けの研修など職種別の研修やコンサルテーションも行い、研修後には伝達勉強会の機会を設けています。	研修で学んだことを伝達会で他の職員に伝え、現場で実行します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども所有の座位保持装置や立位保持装置、バギー等の補装具の据え置きが多く、廊下の増員や各部屋が狭くなりやすい傾向があります。	姿勢保持装置の必要性が高い子どもが多く、在籍人数が増えることによりスペース確保が難しいことがあります。	長期入院等で使用機会が一時的でも減る補装具については2階の木工室に置いたり、持ち帰りの保管をお願いするようにします。
2	幼稚園や保育園との地域の子どもの交流が少ないです。	今年度から年2回地域の保育園との交流を行ったが、回数が少ないです。	次年度も継続して保育園・幼稚園との交流を行います。